

新ヘルスケア産業フォーラム 第5回定時総会・5周年記念大会



北川代表による挨拶の様子

6月21日(水)、新ヘルスケア産業を中部圏の新たな成長産業として創出・育成していくことを目的に設立された「新ヘルスケア産業フォーラム*」は、第5回定時総会ならびに5周年記念大会を名古屋市内にて開催した。

*代表：北川梅村学園学事顧問、事務局：高齢社会街づくり研究所、中経連

定時総会には約40名が出席し、理事改選、規約変更、事業報告および事業計画、収支報告および収支計画について審議し、原案どおり承認された。引き続き開催した大会では約80名が参加し、「産業としてヘルスケアを考える」をテーマにシンポジウムを行った。

講演では、ミズノ(株)代表取締役専務執行役員の加藤氏から「スポーツ品メーカーとしてヘルスケアを考える」について、(公社)犬山城白帝文庫理事長の成瀬氏から犬山城を中心とした観光とヘルスケアについて、大府市長の岡村氏から「日本一元気な『健康都市おおぶ』の新たな挑戦!」についてそれぞれの分野での取り組みについて情報提供をいただいた。パネルディスカッションでは、会場からの質問シートをもとに活発な議論が行われた。

シンポジウム終了後には、講師を交えた交流会を行い、参加者は新たなビジネスモデル創出に向けた相互理解を深めた。

(イノベーション推進部 小島 琢也)

中部国際空港の二本目滑走路をはじめとする機能強化の実現に向けた要望活動

7月5日(水)、中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会(会長:大村愛知県知事、副会長:豊田中経連会長等)は、与党国会議員で構成される中部国際空港拡充議員連盟、大野国土交通大臣政務官および国土交通省幹部、二階自由民主党幹事長等を訪問し、中部国際空港の二本目滑走路をはじめとする機能強化の実現に向けた要望活動を実施した。



大野国土交通大臣政務官(中央)に要望書を手渡す中西愛知県副知事

<要望内容>

- 地域と連携して、中部国際空港の機能強化に必要な調査検討に取り組むこと
- ビジット・ジャパン地方連携事業等インバウンド旅客の増加に向けた施策をはじめとする航空需要拡大の取り組みを一層推進すること
- 急増する訪日外国人の受入に適切に対応するため、LCC向けターミナルの整備にあわせてCIQ(税関、出入国管理、検疫)体制の充実・強化に取り組むこと
- 空港利用者の利便性向上、および、さらなる増加が見込まれるFIT(個人の外国人旅行者)にしっかり対応するため、引き続き、道路・鉄道等の空港と主要都市や主要観光地とのアクセスの充実に取り組むこと

(社会基盤部 和田 耕一朗)